

大宮

THE OHMIYA HACHIMAN

令和 8 年 (2026)

皇紀 2686 年

令和 8 年 わかば祭り (春の大祭) 号

【第 135 号】



全国唯一の姉妹神社に招かれて

今年の旧暦の初午は3月21日で、当宮と全国唯一の姉妹神社の竹駒神社では、みちのくに春を呼ぶお祭りとして7日間わたって初午大祭が斎行されました。本年も姉妹神社として25日の例祭にお招きを受け、当宮の責任役員2名も同行して参列させていただきました。

前夜には、仙台の奥座敷、秋保温泉の銘湯「佐勘」でご招宴があり、翌日の例祭の晴天を祈る「晴れまつり」としてご接待を受けました。

伝承千年の宿で、かつては宮中に献上されて御湯と云われる銘湯に浸り疲れを癒している内に、竹駒神社の宮司様を始め役員の方々のお出迎えを頂き、懇親会が始まりました。

大女将のおもてなしをうけ、美酒を頂き句のご馳走に舌鼓を打ちつつ、役員の方々との交流も深まり、楽しく過ごしている間に時が流れお開きとなりました。

当日は、竹駒神社よりお出迎えを頂き、到着ののち集合写真撮影のあと、ご神前に参進。神社本庁の献幣使として宮城県神社庁副庁長が参向され、祭典は肅々と斎行されました。献饌、宮司の祝詞奏上に続き献幣使の

奉幣、祭詞奏上、巫女4名の舞姫による浦安舞の奉奏と進み厳粛かつ盛大に斎行されました。

本年は午年であり、馬とご縁の深い竹駒神社にとって縁起のよい「午年御縁年」とされ、竹駒の稲荷大神様のご神威が一段と高められたご神前に額すき、大神様の廣大無辺な恩顧を戴くことが出来ました事に大変感謝しております。参拝後参集殿にて直会が賑々しく開催され、ご参会の方々や役員総代の皆様と更に親しく交流を深め、仙台駅まで送車戴き帰途につきました。

例祭にて授けました御神札は当宮境内末社の稲荷社にお祀りさせていただきます。また、竹駒神社におかれても当宮の御神札をお受け頂きお祀り下さっております。

当宮と竹駒神社の姉妹友好神社の連携は、当宮前宮司故千葉博男様が、かつてご尊父やご義兄様が宮司を務められておられた故郷の竹駒神社の役員様方より、宮司就任について強い懇請を受けられて赴任が決まったことに始まります。その後任として小職が明治神宮より転任してまいりました。いわば千葉宮司様とのご縁により、当時の両

社の役員様方のお計らいによって姉妹神社として交流を深めていこうとの約束ごとが執り交わされたのです。

午年御縁年のよき年に、この交流関係を今後とも存続し、更なる友好の実を挙げることを再確認させて頂くことができました。



令和8年3月25日 午歳御縁年 竹駒神社例祭

東北に春を告げる初午大祭斎行の頃、当宮の桜も咲き始め、週末には竹灯と篝火で彩られた境内に大勢の参拝者が訪れ賑わいをみせました。4月に入ると遅咲きの枝垂れ桜も満開となり、夜間にはライトアップされた桜を撮影する参拝者も多く見られました。

やがて若葉が萌え出づる5月には、わかば祭り（春の大祭）が斎行されます。当宮では第一日の儀として、初日の3日に「こどもの祭り」をご奉仕し、稚児行列に参加のお稚児さんのもとより、お子様方の健やかな成長をお祈りいたします。4日は天皇皇后両陛下がご臨席される第76回全国植樹祭にちなみ、大宮八幡宮植樹祭（献木式）を斎行、献木のご協賛をいただいた方には

観葉植物が授与されます。5日には「当り祭（尚武祭）」をご奉仕いたします。皇室を中心とする我が国の隆昌と、世界平和を祈念し、今年の五穀の豊穰を中心にあらゆる産業の発展とご家業のご繁栄とともに氏子・崇敬者のご家庭のご平安をお祈りさせていただきます。

春のお祭りは秋のお祭り・新嘗祭と一对の祈年祭であります。年とは稲を表し、春に稲（奥津御年）を始め、五穀の豊穰を神々に祈り（祈年祭）、秋には、その収穫に感謝するお祭り（新嘗祭）を行ってきたのです。また、その時に取れた稲の初穂や海幸山幸（農林水産物）の初ものを神々にお供えし、真心を尽くして感謝の「おもてなし」をして、その供え物を神々よりお下がりとしていただきました。「食べもの」の起源は、神々よりの「賜わりもの」と言われております。神々と同じものを頂き、神人共食して、神々よりさらなるお力（生命力）（恩頼）を頂いてきたという神祭りの信仰生活です。併せて、秋の大祭（大宮八幡祭り）が盛大に斎行できますようにお祈りもいたします。

表参道には、恒例の春の風物詩「大宮八幡植木市」も開かれます。多くの氏子・崇敬者のご参詣を頂き、大神様と更なるご神縁を重ねられますようお祈り申し上げます。

大宮八幡宮宮司 鎌田紀彦

わかば祭り(春の大祭)

御神苑の木々の緑も鮮やかな風薫る季節となりました。5月3日より5日までわかば祭り(春の大祭)を盛大に斎行いたします。これに先立つ4月29日には、昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げる昭和祭が斎行されます。大祭初日の3日には、**第一日ノ儀**こどもの祭り(稚児健康祈願祭)を斎行、第45回稚児行列が行われます。4日、**第二日ノ儀**の午後には**植樹祭(献木式)**が行われ、献木のご協賛をいただいた方に観葉植物が授与されます。5日には**当日祭(尚武祭)**が大祭式にて斎行されます。当日祭(尚武祭)では、茶道裏千家淡交会東京第6東支部による**奉茶の儀**が行われ、宮司の祝詞奏上にて皇室国家の安泰・弥栄、五穀豊穡が祈念されます。5月3日には表参道にて春の風物詩**大宮八幡植木市**が開かれ、神門内では5月2日～5日に**みどりの会即売**が行われ、ご神前では多くの**神賑行事**が奉納されます。なお、5月9日には第26回**茶道裏千家献茶式**が行われます。

第45回稚児行列

大祭初日の3日には、午前11時より稚児行列が行われます。わかば祭り**第一日ノ儀(稚児健康祈願祭)**終了後、社殿前で記念撮影をし、佼成学園吹奏楽部を先頭に猿田彦、陣羽織姿の役員総代、りんどう会役員の供奉に続いてお稚児さんたち、BS・GS、飛び入り参加自由の太鼓山車曳きの子どもたちの行列が神門を出発、神社周辺の1・3キロを練り歩きます。稚児は神々の依代とされ、その奉仕をすると健やかに成長するといわれています。



大宮八幡植木市

表参道では大祭期間中の3日に春の風物詩**大宮八幡植木市**が開催されます。色鮮やかな花々や新緑の苗木、園芸用品などが並べられます。

〈献木のお祝いと観葉植物の授与〉

5月4日(みどりの日)は午後2時より**大宮八幡宮植樹祭(献木式)**が斎行されます。第76回全国植樹祭(5月17日、愛媛県松山市にて開催)に因んで当宮みどりの会主催で斎行され、各ご家庭にも緑を拡げようと**献木**のご協賛をいただいた方々には**観葉植物**が授与されます。献木のご協賛は社頭にて承っております。

献木初穂料 一口 二、〇〇〇円

※年間を通じて承っております。但し、観葉植物の授与は植樹祭にご協賛の方のみとさせていただきます。

わかば祭り(春の大祭) 祭典と奉納神賑行事

祭典

昭和祭

躰躰育木祭並びに皐月朔旦祭

4月29日

5月1日

わかば祭り**第一日ノ儀**

5月3日

こどもの祭り(稚児健康祈願祭)

第45回稚児行列巡行

わかば祭り**第二日ノ儀**

5月4日

大宮八幡宮植樹祭(献木式)

5月4日

(主催みどりの会)

わかば祭り**当日祭(尚武祭)**

5月5日

奉茶裏千家(淡)東京第6東支部

5月5日

わかば祭り**終了奉告祭(直会乃儀)**

5月5日

神賑行事

春の弓道奉納射会

4月29日

ユニセフバザー

5月3日

スカウトバザー

5月3日

佼成学園吹奏楽部奉納演奏

5月3日

古武道武技奉納

5月4日

杉並太鼓奉納

5月4日

野点茶会

5月5日

(裏千家淡交会東京第6東支部)

方南エイサー踊り奉納

5月5日

雅太鼓奉納演奏

5月5日

奉納献燈提灯

4月29日～5月10日

園児画展

4月29日～5月10日

みどりの会即売

5月2日～5日

大宮八幡植木市

5月3日

第26回 茶道裏千家 献茶式

5月9日

昭和祭齋行

昭和天皇のお誕生日にあたる4月29日（昭和の日）午前10時より、昭和天皇のご聖徳をおたえ申し上げる昭和祭が中祭式にて厳肅に齋行されます。昭和天皇は、御父君の大正帝の摂政宮を務められたのち、若くしてご即位され、戦前（16年間）、戦中（4年間）、戦後（43年間）の62年14日間と、明確な記録が残る歴代天皇の中で最も長く在位されました。終戦後我が国は、国民のたゆまぬ努力によって戦後の焼け野原から立ち上がり、見事に復興し、世界有数の経済大国にまで発展を遂げましたが、そこには昭和天皇が香淳皇后とともに、常に国民に寄り添い「国安かれ、

毎月お朔日参りには

月代り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日（二日）、十五日に月参りをされる方々が多く、こうした方々に年間を通して八幡大神様のご神威をお受けいただくこと、毎月の朔旦祭に併せてお朔日参りのご祈願として「月参り大御幣振り神事」を奉仕して「月代り御幣守護」を授与しております。

月毎にお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円にて齋行させていただきます。詳しくは、お問い合わせください。



民安かれ」と世界の平和を祈られた尊いお姿がありました。昭和祭は昭和の日制定の平成19年から奉仕いたし今年で20回目を迎えます。

第26回 茶道裏千家献茶式

5月9日に第26回裏千家献茶式が茶道裏千家今日庵丹心斎千宗史若宗匠のご奉仕にて齋行されます。宮司の祝詞奏上の後、若宗匠のお手前にて濃茶と薄茶をご神前に献じられます。境内では裏千家淡交会東京第6西支部の奉賛により早朝より添釜茶会が催されます。また大宮幼稚園では園児茶席が開かれ、園児たちが日頃のお稽古の成果を披露します。

新春社頭往来

1月1日 能楽師 立正佼成会会長	野村 昌司氏 庭野 日鏡氏 他5名
1月2日 弓馬術礼法小笠原教場 三十一世 宗家	小笠原清忠氏 他38名
1月4日 フラワーアーティスト	KAORUKO氏 石原 伸晃氏 里紗氏 伸武也氏
1月5日 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 会長	清原 當博氏 鈴木 直樹氏 佐々木貴夫氏 野田 ルミ氏 迫田今日子氏
1月6日 杉並税務署 署長 副署長 総務課長	横内 和彦氏 大園 篤士氏 鈴木 勝幸氏 渡辺 ルミ氏
1月10日 大國魂神社宮司	猿渡 昌盛氏
1月15日 日枝神社宮司	宮西 修治氏
1月26日 日枝神社宮司	的場 浩司氏
1月27日 太田神社 責任役員	船越英一郎氏
2月8日 太田神社 責任役員	齋藤 泰之氏 宮嶋 博氏
3月13日 警視庁高井戸警察署 署長	藤井 郁久氏

献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間、4月29日から5月10日まで皆様方のお名前（ご社名）を入れた献燈提灯を掲出いたし、ご社頭を賑々しくお飾りさせていただきます。



春の大祭後の主な行事（予定）

御嶽榛名神社例祭	5月16日
第47回 大宮さつき展	5月23日～5月31日
神功皇后祭	6月3日
大祓詞書写会	6月20日～28日
事前大祓	6月25日～30日
夏越の大祓・茅の輪くぐり	6月30日
第28回乞巧奠	7月1日～15日
大宮八幡乞巧潜り	7月1日～15日
七夕の神遊び（技芸上達祈願祭）	7月7日
第26回納涼大宮天神こどもまつり書道行燈掲出	7月7日
第26回杜のひびきinおみや（和太鼓演奏）	7月24日・25日
多摩清水社例祭（水神祭）	8月1日
第43回戦没者慰霊祭	8月15日
別当墓地秋季慰霊祭	9月23日
第26回十五夜の神遊び・月の音舞台	9月26日

杜の話題

新春の表情

元日午前零時、新玉の令和8年の幕開けを告げる宮司の一番太鼓が境内に響き渡り、神門が開かれると新春を祝う参拝者で境内はあふれかえりました。ご社殿ではまず**神能「翁」**が観世流シテ方能楽師の野村昌司師により奉納され、続けて宮司奉仕による**歳旦祭引き続き新春厄除開運初大祈願祭（一番祈願祭）**を斎行し新たな年の幸を祈りました。続いて午前2時30分には宮司により多摩清水社にて**若水**が汲まれ、ご神前にお供えされました。午前10時、立正俊成会庭野日鑑會長以下役員の方々が参拝され、一年の平安を祈念されました。2日は、小笠原流御宗家による恒例の新春除魔神事**墓目の儀・大的式**が奉納されました。



とんど焼き

3日には皇位の大元始めを寿ぐ元始祭が午前9時より斎行されました。



小正月の恒例の行事である**とんど焼き（古神矢・古神札等焼納祭）**が、1月15日、斎行されました。ご社殿にて**月次祭並古神矢・古神札等焼納奉告祭**斎行ののち、境内の齋場で**古神矢・古神札等焼納祭**を斎行、祝詞奏上後の**火鑽神事**では御火鑽具を用いて浄火が熾され神職・参列員らが大祓詞を奏上する中、古神矢・古神札が焚き上げられ、感謝と除災招福を祈りました。



初天神大祭

1月25日、大宮天満宮にて**初天神大祭**が斎行されました。年初の天神祭は受験のシーズンとも重なるため、受験生や保護者が参列され合格・学業成就を祈願しました。



大祭が斎行されました。年初の天神祭は受験のシーズンとも重なるため、受験生や保護者が参列され合格・学業成就を祈願しました。

文化財防火デー消防訓練

昭和24年1月26日、奈良・法隆寺の金堂より火災が発生し、国宝の十二面壁画を焼失してしまいました。火事による貴重な文化財の消失を防ぐため、この日は**文化財防火デー**に制定され、当宮では杉並消防署のご指導のもと、毎年この日に**消防訓練**を行っています。午前10時、社殿より出火との想定で訓練を開始。通報連絡、初期消火、文化財の搬出避難誘導に続いて杉並消防署、杉並消防団第2分団、当宮自衛消防隊により、ご社殿の屋根へ向かって**一斉放水**を行いました。地元大宮2丁目町会の皆さんにもご参加いただき地域の防災意識を高めました。また幼稚園でも**消防車観見学**などの広報活動が行われました。



節分祭 一年の邪気を祓う

季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分といい、年4回のうちの特に立春前日の節分には、1年の邪気を祓う重要な神事が行われてきました。当宮では、午前10時より**節分祭**を斎行。祝詞奏上のもと桃の弓・葦の矢で「天・地・裏鬼門」の魔を射る**追儺の除魔神事**を奉仕しました。次いで弓に矢を番えずに弦を鳴らす音で魔を退散させる**鳴弦の儀**が社殿前にて宮司奉仕により行われました。次に大宮幼稚園園児を対象に豆撒き神事を斎行、ついでご参拝の皆様も参加され賑わいました。



追儺の除魔神事を奉仕しました。次いで弓に矢を番えずに弦を鳴らす音で魔を退散させる鳴弦の儀が社殿前にて宮司奉仕により行われました。次に大宮幼稚園園児を対象に豆撒き神事を斎行、ついでご参拝の皆様も参加され賑わいました。

紀元祭並檀原神宮遷拝

2月11日は**紀元祭**と呼ばれ、神武天皇様が檀原の宮にご即位され我

が国が建国された記念の日です。午前10時、まず社殿にて**紀元祭**を中祭式にて斎行。ついで清涼殿の特設齋場にて**檀原神宮を遙拝**。「紀元節」を声高らかに斉唱し、**聖寿萬歳三唱**。皇紀2686年をお祝いしました。



大宮稲荷神社初午大祭



大宮稲荷神社の**初午大祭**が本年は二の午の2月13日に斎行されました。大祭当日は多くの初午幟奉納者にお集まり頂き、御奉納頂いた216旒の深紅の初午幟がはためく中、宮司以下祭員により斎行され、商売繁昌、家内安全を祈念しました。当神社には姉妹友好神社の**竹駒神社**(宮城県岩沼市鎮座)のご神札も祀られており、同社の初午祭は旧暦で斎行され(本年は3月25日)、陸奥国に春を告げるお祭りといわれています。

天長祭

2月23日、**天長祭**が中祭式にて宮司以下祭員奉仕により厳粛に斎

行されました。引き続き清涼殿特設会場にて**皇居を遙拝**、**聖寿の萬歳を三唱**。天皇陛下のお誕生日をお祝いし、陛下のご長寿、国の弥栄を祈念いたしました。



梅花祭



2月25日は天満宮の御祭神である菅原道真公の命日にあたり、梅の花をこよなく愛でた道真公を偲び**梅花祭**が斎行されました。梅が枝、梅花米がお供えされ、天神様を崇敬する多くの方が参列しました。

新春吉例 伊勢参宮旅行

新春恒例の**伊勢参宮旅行**が3月2日から4日にかけて行われ、今回は17名が参加しました。一行はまず東京駅より伊勢の**神宮外宮**へ向かい御垣内参拝。ついで神宮会館にて昼食後、**内宮**へ移動し大々神楽を奉納、御垣内参拝しました。2日目はまず商業リゾート**VISION**



内宮 参宮橋

にてお買い物をし、上野天神宮の秋祭り「上野天神祭」で使われるだんじりが展示されている**伊賀上野だんじり会館**を見学。午後

日本最古の神社の一つとされ、三輪山を神体山とする大和国一宮**大神社**を正式参拝し、日本三文殊第一霊場**安倍文殊院**を参詣しました。最終日は法相寺**大本山興福寺の国宝館**を見学し、**奈良国立博物館**で「お水取り」の特別展を鑑賞。次に奈良の伝統的な町家の残るなら**まち格子の家**を見学した後京都へ移動し、方



大神神社



城南宮

東日本大震災・能登半島地震復興祈願

「私どもは3・11を忘れません」3月11日当日の朝御饌祭では、復興祈願の祝詞を奏上し、**大祓詞3巻**を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分にはご参拝の皆様にも呼びかけて、東日本大震災の犠牲となられた方々へ**1分間の黙祷**を社殿前にて捧げました。



別当墓地春季慰霊祭

当宮(別当寺)大宮寺の歴代別当職、歴代の中野神主及び歴代宮司神職の御霊をお祀りする**別当墓地春季慰霊祭**を、春分の日である3月20日に斎行しました。



竹駒神社例祭参列

3月25日、当宮と姉妹友好神社の関係を結ぶ宮城県**竹駒神社**(村田守広宮司)の**午歳御縁年初午大祭(例祭)**が斎行され、宮司、瀬沼・末柄両役員が参列しました。

勸学祭ランドセルお祓い式

小学校入学を祝いお子様の成長を祈念する勸学祭・ランドセルお祓い式が、3月28日、29日に執り行われました。保護者に連れられ大きなランドセルを背負った新一年生たちが緊張と期待の入り交じった面持ちで祭典に参列、小学校生活の充実と交通安全をお祈りしました。参列のお子様にはランドセルなどが授与されました。



桜祭り開催

3月21日から3月29日にわたって桜まつりが開催されました。当宮境内より和田堀公園内の善福寺川沿いには約700本の桜があり、時季になると一斉に開花して春を彩ります。期間中の土曜日曜は午後8時まで開門、和田堀公園への往来も可能になり、境内



になり、境内

には神楽殿前のベンチに毛氈が掛けられ朱傘が設置されました。篝火が焚かれ、神社の風情を味わいながら春の一刻を多くの参拝者が楽しんでいました。また期間中には、桜の花びらがあしらわれた限定御朱印が授与されました。

煎茶道 黄槩売茶流献茶祭 斎行

4月18日に第3回煎茶道黄槩売茶流献茶祭が家元通仙庵孝典様のご奉仕にて斎行され、ご神前に煎茶が献じられました。煎茶道黄槩売茶流とは、京都の宇治にある黄



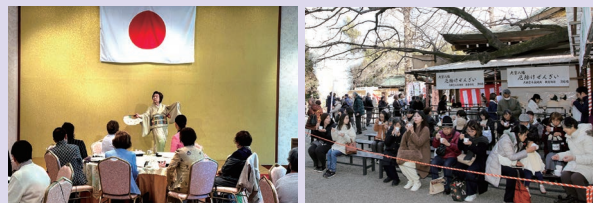
氏子青年会だより

3月15日、氏子青年の集いが総合結婚式場清涼殿羽衣の間・蓬萊の間にて行われました。開催に先立って社殿にて正式参拝が行われた後、来賓20名、合計42名が出席し盛会となりました。



槩山萬福寺の茶礼から発展した茶道の流派であり、当宮茶室通仙庵にて普段稽古をされております。祭典には、駐日リトアニア共和国特命全権大使オーレリウス・ジーカス閣下ご夫妻をはじめ約40名が参列され、茶室神泉亭では煎茶茶席が午後3時まで設けられました。

りんどう会だより



1月15日、とんど焼き神事(古神矢・古神札等焼納祭)に併せて、恒例の厄除せんざいの授与奉仕を行いました。今年一年の無病息災を願ってご神火をいただいで調理したせんざいを多くの参詣の方々にお召し上がりいただきました。

4月16日には、春の集いが行われ、会員37名が出席し、懇親を深めました。

また、4月23日には、春の大祭に向けて、御垣内清掃奉仕が行われました。

大宮八幡宮敬神婦人会(りんどう会)では随時会員を募集しています。お気軽に事務局(社務所)へお申し込みください。

戌の日詣りは 子育八幡さまの当宮で 安産祈願祭を!

※戌の日以外でも随時お受けしております。ご祈願の方には大宮八幡息長帯(安産腹帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様ご健康に無事ご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」「安産御守」「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。



戌の日早見表

(令和8年5月~9月)

9月	8月	7月	6月	5月
9日(水)	4日(火)	11日(土)	5日(金)	12日(火)
21日(祝月)	16日(日)	23日(木)	17日(水)	24日(日)
	28日(金)		29日(月)	

は大安

大宮八幡の杜 春から夏へ

神功皇后祭

令和元年は、ご祭神であります神功皇后様が摂政69年（269年）、陰暦の4月17日に御歳百歳で神上がりましてより1750年の式年に当たり、その年の皇紀929年の月日を太陽暦に換算した6月3日、神功皇后千七百五十年式年大祭を斎行しました。翌年より、先ず御陵の狭城盾列池上陵（奈良県）を遙拝し、神功皇后祭を斎行いたしております。



神功皇后（息長帯比売命）は、主祭神応神天皇の母君であることから聖母大神とも称えられています。安産子育ての神として厚い崇敬を集め、戌の日には多くの安産祈願を受けられる参拝者で賑わいます。

大祓詞浄書（水無月書写会）



大宮八幡塾水無月書写会では夏越しの大祓に合せて6月20日から28日までの間、いろいろと共催で大祓詞書写会を開催します。期間中は午前9時半～午後3時

半まで茶室神泉亭にて随時受付しており、約900字の大祓詞を書写して大神様のご神徳を戴きます。尚、浄書された大祓詞は大祓に引き続いて行われる奉納奉告祈願祭にて神前に納められます。

水無月 夏越の大祓



6月30日は、午後4時より夏越の大祓が斎行されます。大祓は6月と12月の晦日に行われ、歴史は古く平安時代の儀式書である『延喜式』にも記されてお

り、知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清める神事です。一般の方々へは6月25日から事前大祓を行います（30日午後3時まで）。罪や穢れを移した形代を唐櫃に納めた後に神職のお祓いを受け、茅の輪を潜って頂き、当日と同じ形で大祓神事を行います。なお、30日当日午後4時の祭事は神職と神社役員のみにて執り行います。

「水無月の夏越しの祓する人は千歳の命延ぶというなり」



平安の雅び第28回乞巧奠と 平成の七夕大宮八幡乞巧潜り

7月1日から15日まで、第28回平安の七夕乞巧奠が開催されます。清涼殿ロビーにて乞巧奠を再現展示します。技芸上達を願う乞巧奠は、古く平安の世より宮中を中心に広く行われた行事であり、現代でも堂上家であった冷泉家において行われております。また、神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕大宮八幡乞巧奠潜りが設けられます。



大宮八幡乞巧潜り



乞巧奠

第26回納涼大宮天神こどもまつり 杜のひびきinおのみや

7月24日と25日の両日にわたり、第26回納涼大宮天神こどもまつりが行われます。24日は午後5時より大宮幼稚園園児、近隣の小中学生、崇敬者の方々からご奉納いただいた多数の書画行燈の献灯式が行われ、幻想的な雰囲気の中宵宮祭を斎行いたします。翌25日は夕刻より大宮天神こどもまつりが斎行され、祭典の後こどもあかり神輿が元氣よく巡行します。続いて杜のひびきinおのみや（時間をはずした日の祭事）が開演され、和太鼓奏者の響道宴氏による勇壮な和太鼓の演奏、剣道かむお（サムライアーティスト集団）による演武が奉納されます。神門前では子



書画行燈の募集

納涼大宮天神こどもまつりにあたり、「書・画」の作品を募集します。奉納された書や画は、行燈に貼って灯りを点し、7月24日の夕刻より大宮天神祭の献灯としてご社殿前に掲出されます。書または水彩画は指定の用紙を、必ず横長に使用してご奉納（応募）いただいております。（※用紙は社務所にあります。「無料」）



乞巧結び五色布（諸祈願記入用）
乞巧五色御守

「乞巧守」を奉製
「大宮八幡乞巧守」を7月1日（文月朔日祭）より25日の大宮天神こどもまつりまでの期間限定で授与します。笹竹に紅白の七夕人形が付けられ、学業や技芸の上達を祈願します。



供のミニ花火の集いが催され、大勢の子供たちで賑わいます。氏子青年会の模擬店(夜店)も両日出店されます。

多摩清水社例祭



8月1日は葉月朔旦祭に引き続き御神水の湧き出る多摩清水社の例祭が斎行されます。水の大切な盛夏の時期に、水神様の御神徳を称え水の恵みに感謝の誠を捧げるお祭りです。神門を出た入口には、この地を訪れた俳人阿波野青畝の「広き野に靈の清水のあるところ」と詠まれた句碑があります。

第43回戦没者慰霊祭

8月15日、第43回戦没者慰霊祭が斎行されます。当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者の英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念します。



大宮八幡祭り(秋の大祭)

祭典日程のお知らせ(予定)

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。

*9月15日(火) 例祭

*9月18日(金) 神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭

*9月19日(土) 宵宮祭

*9月20日(日) 氏子奉幣祭・第38回神輿合同宮入り

*9月21日(祝日) 神輿神霊返し祭

第13回フォトコンテスト作品募集中 ~締め切りせまる~

大宮八幡宮の自然や祭典行事風景を、プロ、アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納いただく、第13回フォトコンテストを開催いたします。

入選された作品は今秋の大宮八幡祭り(秋の大祭)より境内に展示し、ご参拝の皆様にも楽しんでいただきます。

プロ・アマ・年齢不問
小・中・高校の学生さんも歓迎!
応募作品についての詳細は、社頭やホームページ上にてご確認ください。

協力写真店
フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入口)
カメラハウス本店(久我山)

締め切り日

令和8年7月31日

募集サイズ:
2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。(1人5点まで)



審査風景

但し、各神事での撮影禁止事項をお守りください。

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。)

過去12回の最優秀賞(宮司賞)入賞の作品



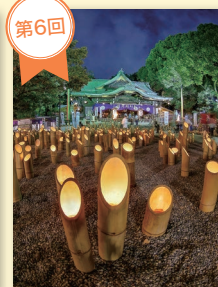
第1回 『当たれ!』 大野 貴義氏



第2回 『祭りだワッショイ!』 大野 貴義氏



第5回 『後光さす八幡宮』 早川 幸子氏



第6回 『竹取りの物語り』 久保田 彬洋氏



第8回 『お父さん、コロナ退散するといいね』 島山 敏郎氏



第3回 『後押し』 杉園 幸司氏



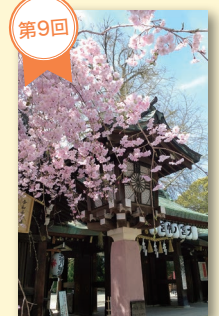
第4回 『十五夜の神遊びで神様もお喜び!』 奥村 泰子氏



第7回 『明日へ』 小竹 秀雄氏



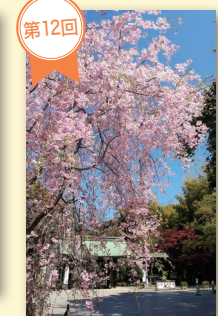
第11回 『鳥居と同じ赤い橋』 堀内 京子氏



第9回 『枝垂桜と燈籠』 濱田 文夫氏



第10回 『屋越の墓目乃儀』 佐藤 多紀氏



第12回 『枝垂れ桜 春らんまん』 濱田 文夫氏

初宮詣芳名(敬称略)

(令和7年11月21日~令和8年3月20日)

お子様のお健やかな成長をお祈りいたします

- 伊藤智也 大崎もも
- 御厨大智 安井凜翔
- 藤井暹士 横江南音
- 鈴木芽生 鈴木一樹
- 福島江伶菜 湧川凛人
- 杉田陽葵 井上琴葉
- 菊地夏希 山下圭悟
- 川本瑛斗 清水維晴
- 白井颯樹 笠井紬葵
- 鈴木洗真 小林千晃
- 遠山理玖 藤渥太朗
- 高岡椿 重枝笑和
- 柳川倫 永綱心桜
- 瀧口麦 中臺英里
- 松尾蓮斗 中原壯紫
- 松尾葵斗 北澤大聖
- 平優玖 田中みあ
- 今史月 土屋暁人
- 高橋輝 泉口葵
- 時田茉澄 小田部瑠美
- 井関澄香 森澤悠都
- 國府谷月子 藤本芽功
- 長岡明利 渡邊悠音
- 磯貝穂乃 渡辺湊翔
- 小林郁斗 水野斗碧
- 井澤龍星 前田柚希
- 小倉咲愛 小副川月稀
- 笠原彩笑 高橋燈月
- 増永充希 森涼葉
- 小林未采 清水心美
- 宮島世夏 長谷川立樹
- 寺井暁翔 長谷川穂
- 岩崎明日香 岡野滯
- 小坂橋柊陽 山田陽柳
- 久保百合香 萩原柊
- 藤田菜門 吉田陽登
- 中野想太 川畑紗奈
- 神谷光梨 坂口陽向子
- 岩間威尊 武藤紬生
- 富士谷梨音 野口隼
- 西村架乃 今成松陽
- 廣川澄玲 梅田晴悠
- 箕輪千景 宮城葉
- 総田悠士 吉川レオ
- 北原佑京 久保田聡
- 武藤綾汰 原田英采
- 安藤凜乃 矢倉伊織
- 長谷部千晃 栢崎一穂
- 湯座優依菜 内藤千隼
- 佐藤百菜 西岡権利
- 八木南頼 斉藤凌央
- 篠陽向 深見芽生
- 山田楓和 笹井優弥
- 大石智貴 今野桔平
- 楠本煌 三寫葵翔
- 坂本結音 石本汐音
- 廣川晴稀 酒井陽己
- 廣川彩来 下山朔
- 江口琉生 福島優治
- スミセレン灯莉 小島実紅
- 池谷漣斗 加賀田碧橙
- 屋富祖良亮 伊達翔政
- 鈴木燈菜 鍵山響己
- 中神彩莉 橋本侑美
- 小川葉澄 山口凜空
- 三井優世 江川碧心
- 岡本琉良 伊藤美知
- 西村若葉 宮川蓮
- 佐藤嘉音 齊藤慧
- 木田咲良 橋本和来
- 辻野朔 林碧陽
- 小田万凜 吉澤凜乃
- 竹本結奏 吉田隆世
- 高橋湊士 広瀬琴乃
- 大野鈴佳 竹田壮次
- 東條翔 石塚遼真
- 丸山翔 崎玉風大
- 田中杏奈 五十嵐迅
- 畑中奏佑 川村佳葦
- 岩橋英志 大津英玲奈
- 山内爽誠 原細姫
- 大塚悠 清水意渡
- 越智風花 鈴木富士
- 堀口紬彩 西村花
- 小松穂貴 飛田旬太郎
- 番田翠 柳田颯太
- 佐藤作 高橋星七
- 川島悠暉 川島獅央
- 藤原獅央 高橋香澄
- 玉田優莉花 津田楓音
- 磯谷瑛翔 宮川琴羽
- 梶陽仁 梶陽仁
- 高橋伶 高橋伶
- 田中希歩 野方琴羽
- 山崎沙彩 山崎沙彩
- 野村望心 野村望心
- 田中瑠架 塩田曉優
- 志岐佳耶 志岐佳耶
- 杉浦維月 内海南燈
- 岸千紘 根本桜菜
- 小島実紅 小田侑季
- 加賀田碧橙 高橋朋花
- 伊達翔政 信野暖乃
- 鈴木響己 西川敦己
- 橋本侑美 高橋唯央
- 山口凜空 後藤千明
- 江川碧心 中村啓真
- 伊藤美知 松井啓真
- 宮川蓮 杉村明莉
- 齊藤慧 水口葵子
- 橋本和来 中嶋凛
- 林碧陽 西村圭晟
- 吉澤凜乃 竹中琉純
- 吉田隆世 吉田陽葵
- 広瀬琴乃 関口もね
- 竹田壮次 浜崎葵
- 石塚遼真 魚返心乃
- 崎玉風大 吉沢奏希
- 五十嵐迅 島倉緑
- 川村佳葦 藤巻亘
- 大津英玲奈 合田琴音
- 原細姫 片山心陽
- 清水意渡 上之園承ノ介
- 鈴木富士 河鍋颯太郎
- 西村花 池田綾菜
- 飛田旬太郎 平莉朱
- 柳田颯太 田郡那乃佳
- 高橋星七 寒竹楓太
- 富田勘介 富田莉緒
- 原田莉緒 大滝絢子
- 小野寺郁月 近江礼風
- 近江礼風 近江礼風
- 高橋優誠 高橋優誠
- 平一華 鈴木詩
- 高橋玲羽 高橋玲羽
- 小豆澤希旺 岡部莉瑚
- 野村望心 林來佳
- 足立澄彌 足立澄彌
- 村上雪乃 山口凜乃
- 山口凜乃 野部千晴
- 吉田葉月 八木大菜
- 勝村柚月 曾我柚月
- 重原乙斗 片岡凌翔
- 片岡凌翔 片岡絢翔
- 佐野千代梨 角田珀
- 佐藤葵仁 佐藤葵仁
- 原藤那里 金子千秋
- 前園栞七 加藤琴羽
- 大橋結月 濱田祐奈
- 菊地絃葉 メテルス零
- ベシヤミン
- 花田あさひ 佐藤紅葉
- 二井蓮治郎 新谷耀希
- 園田佳永 上野樹生
- 久米梨愛 村田陽音
- 齋藤理 齋藤理
- 佐藤穂乃 佐藤穂乃

どんぐり通信

副園長 草村敏子

開花宣言の前日「令和7年度第76回卒園式」が執り行われ、無事55名の子供たちが巣立っていきました。

御神殿の中で卒園奉告祭、卒園式と行事が進む中で、在園期間中の年少時代から培ってきた「言葉遊び」の最終仕上げとして「詩の朗読 雨ニモマケズ 宮沢賢治」を全員で暗唱して、朗々と神様にご奉納しました。また園長先生はじめ職員そして保護者の皆さまへの感謝の言葉として「お別れの言葉」引き続き



「君と僕のラララ」を歌い上げ式が終了しました。この間子どもたちは背筋を伸ばした凛々しい姿に身も心も大きく成長したことを実感すると共に先生方の日々の教育と保護者の方々のご協力の賜物と感謝しました。

園舎に戻り各保育室に設えられた「赤い絨毯ロード」を卒園児一人ひとりが保護者の方と共に踏み

しめて、担任の先生の前に進み出て保育証書をいただきます。そして、春休みを終えていよいよ令和8年度4月10日に新入園児を迎える運びとなりました。園庭を見渡すとソメイヨシノの見頃は過ぎてしましたが八重桜が満開となり、新入園児を祝うウエルカムチューリップが色とりどりに咲きほこり、神殿の中で執り行われた入園式は卒園式の静寂さとは打って変わって、それは賑やかな集団生活がこれから始まる期待と不安のエネルギーの塊のような感じがしました。年少児を担当する先生方は終始笑顔で一人ひとりに対応している様子に私も笑顔で今年一年頑張ったように思います。今年一年頑張ったように思います。今年一年頑張ったように思います。今年一年頑張ったように思います。



- 長山実樹 高橋梨樹 野本胡桃 中村風影 福田あさひ 下山世椿
- 安藤久藍 坂口椰依 小松原詩菜 小松咲貴 高山樗風 平松玄吉
- 山本美零 佐藤格 渡辺千陽 高瀬慧 廣瀬想介 中里直緒
- 東花樹 工藤碧斗 大河内秋吟 柳本悠陽 飯島希帆 江崎蘭
- 江口凌功 柳本悠陽 比嘉寧音 福見仙 森川維乙 細田珠冬
- 川崎絢世 飯島希帆 比嘉寧音 福見仙 森川維乙 小堀緑
- 長皓太 野玉美玲 種子結月 北川沙月 松澤颯 安藤千樞
- 伊藤衣桜奈 三木詩織 荒井穂花 松原乃咲 内藤藍央 鈴木楓真
- 川村美織 三木詩織 荒井穂花 松原乃咲 内藤藍央 平田朔太郎
- 古市寛八 松原乃咲 内藤藍央 松本紘志 松本紘志 白川宗侑
- 松本結愛 松原乃咲 内藤藍央 松本紘志 松本紘志 八木葵羽
- 井上采環 松原乃咲 内藤藍央 松本紘志 松本紘志 赤羽一華
- 青木紘愛 松本紘志 桑村律杜 漆戸絃人 金子慧士 中野紗己子
- 若林緒音 漆戸絃人 金子慧士 浄見心玄 清水優志 矢野柚燈
- 柏谷柚希 漆戸絃人 金子慧士 浄見心玄 清水優志 加藤依桜
- 星澄澄 漆戸絃人 金子慧士 浄見心玄 清水優志 梶原紘生
- 大久保風花 金子慧士 浄見心玄 清水優志 梶原紘生 山田蓮
- 蝶野日葵 金子慧士 浄見心玄 清水優志 梶原紘生 金成詩歌
- 漣碧依 金子慧士 浄見心玄 清水優志 梶原紘生 清水椋凛
- 高山汐音 青木紘希 藤井瑛介 野口蒼空 野口蒼空 堀井颯斗
- 井上博翔 青木紘希 藤井瑛介 野口蒼空 野口蒼空 堀井颯斗
- 廣瀬礼実 丸山昌文 岡本泉弦 若松弦志郎 東律貴 中野陸仁
- 牧内蒼汰 丸山昌文 岡本泉弦 若松弦志郎 東律貴 中野陸仁
- 仁科蓮 小林陸 野口蒼空 野口蒼空 野口蒼空 萩間月紬
- 浅沼葵 木崎晴透 藤井陽海 丸山昌文 岡本泉弦 森口陽翔
- 大東終斗 丸山昌文 岡本泉弦 若松弦志郎 東律貴 高野紡衣
- 田中麗莉 丸山昌文 岡本泉弦 若松弦志郎 東律貴 高野紡衣
- 土橋泰征 磯部詠 豊島侑心 巻田賢澄 田口莉瑚 藤野紗妃
- 和泉柑那 磯部詠 豊島侑心 巻田賢澄 田口莉瑚 藤野紗妃
- 小林和 豊島侑心 巻田賢澄 田口莉瑚 藤野紗妃 石川りつか
- 橋井亨 豊島侑心 巻田賢澄 田口莉瑚 藤野紗妃 石川りつか
- 横山穂乃花 巻田賢澄 田口莉瑚 藤野紗妃 石川りつか ボルトンロニー
- 石川りつか 巻田賢澄 田口莉瑚 藤野紗妃 石川りつか シェイムズ
- ポルトンロニー 小西愛澄 小橋幸乃 近藤真梨 瀬戸真香
- 田中結依人 小橋幸乃 近藤真梨 瀬戸真香 宮崎葵伊
- 竹越結来 近藤真梨 瀬戸真香 宮崎葵伊 宮崎菜白
- 岡路心晴 瀬戸真香 宮崎葵伊 宮崎菜白 宇野衣都
- 近藤碧 宮崎菜白 宇野衣都 青木柚凜 井上蒼葉
- 小林瑚乃実 宇野衣都 青木柚凜 井上蒼葉 上田実采
- 今井璃優 青木柚凜 井上蒼葉 上田実采 十河柊磨
- 村越陽心 青木柚凜 井上蒼葉 上田実采 十河柊磨 相川瑠那
- 村井陸翔 上田実采 十河柊磨 相川瑠那 野本胡桃
- 多田陽葵 十河柊磨 相川瑠那 野本胡桃 小松原詩菜
- 大串蒼空 相川瑠那 野本胡桃 小松原詩菜 渡辺千陽

十三参り祈願のご案内

古来より数えて13歳になった少年少女が盛装して氏神様に参拝し、お祓いを受ける行事です。

13歳という年齢は自分の生まれた「えと(十二支)」が丁度一巡りして元の「えと(十二支)」に戻る年であることから、これまで健やかに成長できたことへ感謝するとともに、これから知徳・福德・美声等を授かるためにご祈願いたします。

関西地方(特に京都)では七五三と共に大切な人生儀礼となっています。

結婚式挙式者芳名(敬称略)

(令和8年1月1日〜3月31日)

清水航樹・巴瑠子

- 箕浦颯大 半田采 永井慈
- 山家夕茉 狩俣光希 五十川穂花
- 鈴木ナギ 加藤黎 柴田依和
- 坂本紫晴 戸谷碧芭 奥山湊琴
- 笠原優莉 鈴木葵 池邊心湖
- 安藤蓮 土井新菜 綾部彩帆
- 森琴音 大庭優志 清水小晴
- 平良理 米玉利奏太 大山陽
- 平良天 津野崎燈矢 青田莉綾
- 矢野柚燈 加藤依桜 野中律希
- 中野紗己子 梶原紘生 大内梨緒
- 赤羽一華 山田蓮 植村咲美理
- 八木葵羽 金成詩歌 阿部風沙
- 前田結人 清水椋凛 松倉信凛
- 樋室美杜 帯刀颯 白石京平
- 平田真千果 堀井颯斗 岩下美羽
- 中島陽花里 中島裕翔 前田葉奈
- 石川智悠 河村陽莉 勝野滯菜
- 新良貴智晴 進藤鈴花 立川透和
- 宮内桜成 大伴虹心

祝 七五三詣

七五三衣裳展示会は随時行っております
事前にご予約のご連絡をお願いします。

七五三年齢表

七歳 女兒	令和 2 年生
五歳 男兒	令和 4 年生
三歳 男・女兒	令和 6 年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。
満年齢でお受けいただいても差し支えございません。

緑豊かな都心の杜。感動の瞬間

衣裳・美容着付・写真・初宮饗膳(ご会食)など承ります。

清涼殿 03(3312)7515

わかば祭り(春の大祭)

5月3日 ~5日

わかば祭り 第一日ノ儀 こどもの祭り(稚児健康祈願祭)〔3日〕

第45回 稚児行列に、吹奏楽・スカウト・猿田彦・役員総代・こども太鼓山車など多くが供奉。



こどもの祭り(稚児健康祈願祭)



猿田彦を先導に役員・りんどう会と続く



太鼓山車を曳く子どもたち

わかば祭り 第二日ノ儀 植樹祭〔4日〕



植樹祭

わかば祭り 当日祭(尚武祭)〔5日〕



宮司以下祭員の参進



大宮幼稚園園児による朝日子の舞奉奏

大祭期間中(3~5日)、境内では連日神賑行事が奉納されます。
参道では、大宮八幡植木市が行われます。



植木市

〔3日〕



佼成学園吹奏楽部
奉納演奏

〔3日〕



古武道武技奉納

〔4日〕



杉並太鼓奉納

〔4日〕



野点茶会(チャリティ)

〔5日〕



雅太鼓奉納演奏

〔5日〕



方南エイサー踊り奉納

〔5日〕

大 宮 第135号
令和8年 春の大祭号
令和8年5月1日発行
大宮八幡宮社務所

〒168-8570
東京都杉並区大宮2-3-1
電話 (3311) 0105
FAX (3318) 6100
Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp